

令和 2年度予算見積調書

課室名: 観光課
 担当名: 総務・物産・民泊担当
 内線: 3950 (単位: 千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
B87	物産観光振興費		一般会計	商工費	商工業費	販路拡張費	物産観光展示場運営助成費	
事業期間	昭和63年度～	根拠法令	埼玉県物産観光振興費補助金交付要綱			宣言項目	11 オリンピック・パラリンピックなどを契機とした地域の活性化	
					分野施策	040835 観光の振興		
1 事業概要 (一社)埼玉県物産観光協会は、地域の観光・物産PR主体である観光・物産事業者・流通業者・市町村・観光協会等と幅広いネットワークを持つ機関であり、県の観光行政を補完する機能を担っている。同協会を核に事業展開を図ることで高い相乗効果が期待できる。 (1) 物産観光振興費 22,825千円			5 事業説明 (1) 事業内容 ア 埼玉県の観光PRや埼玉県産品の展示販売を行い、本県観光・物産の振興を図る。 (2) 事業計画 ア 本県の観光・物産のPR (ア) ターミナル駅等における埼玉県フェア開催、商品アワード開催、企業間コラボレーションによる新商品開発の実施等 (イ) 埼玉県物産観光館の管理運営(通年) (3) 事業効果 県産品の展示・販売、観光地の紹介を恒常的に行うとともに、観光情報を積極的に発信することにより、県産品の販路拡大、観光客の誘致が望める。 ア 観光消費額 (ア) 県外からの宿泊客 平成27年: 19,100円→令和2年: 23,400円 (イ) 県外からの日帰り客 平成27年: 4,600円→令和2年: 5,800円 (4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 (一社)埼玉県物産観光協会を軸として、その会員である民間企業、市町村、市町村観光協会、商工会議所、商工会等と連携しながら、観光物産振興を図っている。					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10) 事業者0								
3 地方財政措置の状況 普通交付税措置 観光及び物産振興費 観光及び物産振興費								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.9人=8,550千円								
予算額		財源内訳					一般財源	前年との対比
決定額	22,825						22,825	△5,457
前年額	28,282						28,282	